

あゆみ年表 ～ 平成20年 ～

20. 1. 1 無国籍船D号座礁海難

利尻島の沼浦沿岸に、韓国からロシア向け航行していた無国籍貨物船D号（602トン、14人乗組）が乗り揚げた。同船は地元自治体・関係機関等の協力により、1月10日油の抜き取り作業、2月4日乗組員の全員下船、11月12日船体の撤去作業を完了した。



20. 6. 13 カンボジア国籍S号によるイラン人の不法入国

「北海道洞爺湖サミット」警戒中の6月13日、稚内港に入港したカンボジア国籍貨物船S号の合同立入検査等で、乗組員名簿に記載のないイラン人2名を発見。稚内警察署が両名を我が国への不法入国の容疑で通常逮捕。稚内海上保安部は密航者を我が国に不法入国させた容疑で同船乗組員5名を通常逮捕した。



20. 7. 14 「海の月間」合同パネル展開催

ハートランドフェリー(株)、稚内市、稚内海上保安部は、平成20年度「海の月間」事業（稚内市制施行60年、稚内開港60年記念行事協賛）として、ハートランドフェリーターミナル2階待合室ロビーにおいて合同のパネル展を開催した。

20. 10. 2 なまこの潜水器密漁容疑で7名を現行犯逮捕

稚内市西稚内の海岸で、北海道知事の許可なく、なまこ約341kg（3,240個）を密漁した容疑で7名を現行犯逮捕した。同人らは共謀して船外機付きゴムボート及び簡易潜水器を使用して西稚内の沖合において常習的になまこを密漁していた。



20. 10. 10 サハリン沿岸国境警備局との洋上会談

宗谷岬北方海上で、第一管区海上保安本部とサハリン沿岸国境警備局との洋上会談が同警備局警備艇船内において行われ、海難などの事案発生時における連絡窓口の確認等、両機関の協力関係を発展させ、海上における秩序の維持に努めることを確認した。



20. 10. 24 海上災害防止センター稚内基地開設

海上災害防止センターの油防除資機材基地が稚内港末広埠頭に新設され、10月24日に開設式が行なわれた。サハリンプロジェクトの原油や天然ガスを搭載した大型タンカーの事故対応において、迅速に油等の防除措置が行えるようになった。



20. 12. 12 巡視船れぶん解役式・新れぶん配属替え

巡視船「れぶん」が老朽化により12月12日に解役となり、同日解役式を執り行った。同船は昭和54年に就役してから主に警備救難業務に従事し、航走距離は約72万km（地球約18周）、海難事故217件に出動し44隻395名を救助した。

また、同日、第八管区海上保安本部浜田海上保安部所属巡視船「いわみ」が「れぶん」に船名変更し、稚内海上保安部に配属替えとなった。



20. 12. 30 利尻島錨泊沖で外国船機関故障

利尻島錨泊の東約16kmの海域で、コルサコフから韓国釜山向け航行中のシエラレオネ国籍貨物船S号（723トン、20人乗組、）が、主機関故障のため航行不能となり救助要請があった。巡視船れぶんが現場に急行し、同船を稚内港まで曳航救助した。